

すくうるらんち

7月14日(水)

せいかちょう

精華町でとれたナスが

なつやさい

はい

夏野菜カレーに入っています。

きせつのあじをめしあがれ



なつ やさい
「夏の野菜」といえば、ナス！
せいかちょう
精華町でとれた「ナス」です。

おいしそうにできたなあ！



せいかちょうない ひろ はんい さいばい
ナスは精華町内では広い範囲で栽培されています
すがいちく おお つく いちば しゅつか
が、菅井地区では多くのナスが作られ、市場への出荷もされています。



せいかちょう ねんかん しゅっかりょう やく
精華町の年間の出荷量は、約25トンで、ほとん
ろじさいばい つく ちょうない
どが露地栽培で作られています。 町内の
のうさんぶつちよくばいしよ なら
農産物直売所にも、ナスが並びはじめました。
きょう せいはくしやう ひがしひかりしやう すがいしゅつかくみあい
今日は精北小・東光小は菅井出荷組合、
かわにししやう やまだしやうしやう
川西小はフレッシュせいか、山田荘小はフレッ
せいかだいしやう うえだはなやかえん とど
シュせいかざくろ、精華台小は植田花野果苑から届
きます。



はな
ナスの花

ふる やさい にほん かくち さいばい
ナスは古くから野菜として日本の各地で栽培され、
ちほうひんしゅ み かたち まる
地方品種ができあがっています。実の形によって丸ナス、
こまる たまごかた なが げんざいさいばい
小丸ナス、卵形ナス、長ナスなどがありますが、現在栽培
さいちだいざっしゅ なが きゅうけい かじつ
されているのは一代雑種で長い球形の果実がほとんどで
くき ようへい むらさきいろ
す。 茎や葉柄は紫色で、とげがあるときもあります。